

夢中になれる英語の学習めざして

中島佳史 (NAKAJIMA Yoshifumi)

高知県南国市立大湊小学校

要約

本校は、2009年度文部科学省「英語教育改善のための調査研究事業」の指定を中学校校区（香南中学校・日章小学校・本校の3校）で受けて以来、英語教育に取り組んできた。また、事業指定が終わった後も県の教育課程特例校として、4年生以上は教科としての外国語教育に取り組んでいる。本稿では、特に事業指定が終わってからの取り組みの中から、カリキュラムの作成や修正、評価、授業実践等の一端を報告するとともに、アンケートの結果を分析し、週一回の外国語教育の成果と課題を報告する。

(キーワード：小学校外国語科，カリキュラム，評価)

1. 本校の外国語教育

本中学校区では、4年生以上が週1回（年間35時間）、教科としての英語の学習をしている。カリキュラムは、“Hi, friends!”の内容に準じたものに、“My hobby is ...”や“*What’s Japan famous for?*”等の単元を加えている。また、学期末ごとに4人のネイティブスピーカーのゲストに来ていただき、交流学習もしている。

指導は、担任、ALT、専科教員（英語の専科教員ではなく、理科や家庭科を指導している専科教員）の3人でしている。本校は、どの学年も児童数が20名以下の小規模校ですので、一斉にリピート練習したり、ゲームをしたりするだけでなく、一人ひとり発音させたり、小グループで学習し、個々の状態をチェックするようにしている。指導者が絵カードを持って児童間を回りながら一人ひとり発音させたり、3グループに分かれて指導者がそれぞれのグループに付き、カードゲームをしながらスピーキングをチェックし、その場で指導していく等の活動を授業の中に組み込んでいる。

また、授業の始めにALTのスピーチを入れるようにしている。スピーチの内容は、ALTの好きなもの、週末のこと等できるだけ生活に関わることを話してもらうようにしている。これは、話の内容を予測しながら聞く習慣をつけたり、授業で学習する表現以外の英語にも慣れることをねらいにしている。

2. 本校の外国語教育目標および教育課程

2.1 外国語教育目標

外国語を通じて、日本や外国の文化・言葉・生活に関心を持つと共に、互いに伝え合い、学び合い、よさを認め合いながら積極的にコミュニケーションを図ろうとする児童の育成。

2.2 教育課程

学年	時間数（年間）	教科および領域	扱い	担当
1～3年生	20時間	学校裁量	外国語活動	担任または担任とALT
4～6年生	35時間	総合的な時間の学習より	外国語科	担任，専科教員ALT

3. 外国語教育カリキュラム

3.1 低学年（1～3年生）指導計画

目標	○簡単な外国語の語句や表現に触れるとともに、楽しくコミュニケーションを図る。		
回	題材名	言語材料	
1	○あいさつとじゃんけん	Hello ! / Good morning. Thank you. / Good bye.	Rock, scissors, paper, 123
2	○数とじゃんけん	one, two, three, four, five, six, seven, eight, nine, ten	Rock, scissors, paper, 123
3	○色と数	red, blue, yellow, green, white, black, brown, pink, purple	one, two, three, four, five, six, seven, eight, nine, ten
4	○色と数	red, blue, yellow, green, white, black, brown, pink, purple	one, two, three, four, five, six, seven, eight, nine, ten
5	○気持ちと天気	happy, hungry, angry, sad, hot, cold	sunny, cloudy, rainy, windy
6	○気持ちと天気	happy, hungry, angry, sad, hot, cold	sunny, cloudy, rainy, windy
7	○食べ物と色	milk, cake, apple, banana, orange, watermelon, pizza, juice, sandwich, spaghetti	red, blue, yellow, green, white, black, brown, pink, purple
8	○食べ物と数	milk, cake, apple, banana, orange, watermelon, pizza, juice, sandwich, spaghetti	one, two, three, four, five, six, seven, eight, nine, ten
9	○動物と気持ち	dog, cat, lion, bear, frog, horse, dog	happy, hungry, angry, sad, hot, cold, fine
10	○動物と天気	dog, cat, lion, bear, frog, horse, dog	happy, hungry, angry, sad, hot, cold, fine

3.2 4年生観点別指導計画

		観点別評価標準									
		目標									
						コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解		
		<p>自国と他国の文化の違いに気づくとともに、簡単な英語を使って互いに自分のことについて伝え合うなど楽しくコミュニケーションを図る。</p>				<p>○自分のことを進んで話したり、相手の話を興味を持って聞いたりしている。</p>	<p>○自分のことについて伝えたいことを話することができる。 ○自分の名前を書いたリアルファベットを模写したりすることができる。</p>	<p>○やさしい英語を聞いて、内容を聞き取ることができる。 ○友だちの名前やリアルファベットに関心を持って読むことができる。</p>	<p>○自国と他国の文化の違いに気づく。 ○やさしい英語の表現や発音を知っている。</p>		
学期	時数	単元名 Hi, friends! = HF New Horizon = NH	目標	表現	語彙	主な活動	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解	評価方法
1	3	あいさつ① HF1 L1 NH1 Warm-up NH1 U1	初対面の人のあいさつの表現に慣れ、積極的に自己紹介し合う。	Nice to meet you. What's your name? My name is ~. I'm from ~. How about you?	Japan / America / Australia / England / Canada / China / Korea / India	名刺交換しよう	○相手の名前、気分、調子を表す言葉を使って名刺交換をすることができる。			○初対面の相手とのやりとりの仕方を知っている。	行動観察 振り返りカード ワークシート 1対1対話 聞き取りテスト
	3	曜日・天気 HF1 LB NH1 U7	曜日や天気の表現に慣れ、友だちや先生の天気予報を聞く。	How's the weather today? It's sunny. What day is it today? It's Sunday.	曜日・天気 sunny / rainy / cloudy / windy / snowy / foggy / stormy / Sunday / Monday / Tuesday / Wednesday / Thursday / Friday / Saturday	天気予報づくり	○相づちをうつつなど相手の話に関心をもっている。		○友だちや先生の天気予報を聞き取ることができる。	○天気と曜日の言い方を知っている。	行動観察 振り返りカード ワークシート 聞き取りテスト
	3	あいさつ② 1-2 NH1 Warm-up NH1 U1	あいさつの表現に慣れ、相手の気持ちや調子を尋ね合う。	Good morning ~sensei. How are you? I'm fine. Hello, Hi, See you.	気分・調子 fine / happy / ok / sleepy / hungry / angry / great / sick / so so / not so good / thirsty / sad /	気持ちカードの交換しよう	○進んで友だちや先生に話しかけている。	○気分を表す表現を使って、自分の気分や様子言うことができる。		○日常の挨拶の表現を知っている。	行動観察 振り返りカード ワークシート 1対1対話 聞き取りテスト
	3	何ですか? HF1 L7 HF2 L1 NH1 Warm-up NH1 U4	わからないものについて尋ねたり答えたりする表現に慣れ、クイズを出し合う。	What's this? It's a pencil.	動物 dog, cat, hamster, rabbit, turtle, bird, goldfish... 文具 pencil, pen, eraser, notebook, ruler, pencil case, pencil sharpener...	クイズ大会しよう	○積極的にクイズを出したり答えたりしている。	○わからないものを尋ねたり答えたりすることができる。		○わからないものについて、尋ねたり答えたりする表現を知っている。	行動観察 振り返りカード ワークシート 1対1対話 聞き取りテスト
	2	交流活動	これまで学習した表現を使っていろいろな場面での会話をし、仲間と一緒にコミュニケーションを図る。	既習の表現	既習の語彙	自己紹介しよう	○身振り手振り、知っている単語や表現を使って自分のことを伝えている。			○自国と他国の文化の違いに気づく。	行動観察 振り返りカード
2	3	好き・嫌い① HF1 L4 HF2 L1 NH1 U3	友だちや先生の好き嫌いを聞き取る。	I like dogs. I don't like cats.	色・食べ物・動物 red, blue, yellow, white, ... pizza, sushi, curry, milk, soda, hot chocolate, spaghetti, ... dog, cat, ...	スピーチしよう	○相づちをうつつながら友だちのスピーチを聞いている。		○友だちや先生の好きなものや嫌いなものを聞き取ることができる。	○好き嫌いの言い方を知っている。	行動観察 振り返りカード ワークシート スピーチ発表 聞き取りテスト
	3	好き・嫌い② HF1 L4 HF2 L1 NH1 U3	好き嫌いを示す英語の表現に慣れ、スペシャルジュースを紹介する。	I like pizza. I don't like milk. Do you like ~? Yes./No.	色・食べ物・動物 red, blue, yellow, white, ... pizza, sushi, curry, milk, soda, hot chocolate, spaghetti, ... dog, cat, ...	スピーチしよう 質問と応答	○間違えることを恐れず積極的に自分の好きなもの嫌いなものについて自己紹介する。		○自分の好きなものや嫌いなものについて自己紹介する。	○好き嫌いの尋ね方や答え方を知っている。	行動観察 振り返りカード ワークシート スピーチ発表 聞き取りテスト
	3	好き嫌い③ HF1 L5 NH1 U4	好きなものを尋ねる英語の表現に慣れ、積極的に買いたい物や飲み物を聞き合うことができる。	What ~ do you like? I like apples. I don't like kiwis. Do you like ~? Yes./No.	色・食べ物・スポーツ red, blue, yellow, white, ... pizza, soda, spaghetti, ... dog, cat, ... baseball, dodgeball, ...	スペシャルジュースづくり	○スペシャルジュースをつくるために、相手の好きなもの、嫌いなものを確認しながら尋ねている。	○友だちの好きなものを尋ねることができる。	○好きなものを尋ねる表現を知っている。	行動観察 振り返りカード ワークシート 聞き取りテスト 1対1対話	
	3	数 HF1 L3 NH1 U5	数を表す英語に慣れ、1~20までの数字を使ってゲーム大会をする。	How many? Five. 1~20	数 one, two, three, four, five, six, seven, eight, nine, ten, eleven, twelve, ...	ゲーム大会しよう (ビンゴ たけのこニョッキ)	○進んで数を尋ねたり答えたりしている。	○友だちに数を尋ねたり、答えたりすることができる。		○数の尋ね方と1から20までの数の言い方を知っている。	行動観察 振り返りカード ワークシート 聞き取りテスト 1対1対話
	2	交流活動	これまで学習した表現を使っていろいろな場面での会話をし、仲間と一緒にコミュニケーションを図る。	既習の表現	既習の語彙	好きなこと、できることを紹介しよう	○身振り手振り、知っている単語や表現を使って自分のことを伝えている。			○自国と他国の文化の違いに気づく。	行動観察 振り返りカード
3	1	アルファベット HF1 L6 NH1 Warm-up	アルファベットや数字を復習し、ゲームをする。	What do you want? The "A" card, please. OK? Here you are.	アルファベット(大文字・小文字) 1~20までの数	たけのこニョッキ カード集めゲームしよう	○相手の欲しいカードを確認しながら聞いている。		○相手が好きカードを聞くことができる。	○A~Zのアルファベットの大文字と小文字を知っている。	行動観察 振り返りカード ワークシート 聞き取りテスト 書きとり
	3	注文 HF1 L9 NH1 Speaking Plus2	買い物ややりとりの表現に慣れ、積極的に買い物ごっこをする。	What would you like? / I'd like to ~. / large, medium or small? / Here you are. / Thank you. / ~ hundred	ハンバーガーショップの商品 hamburger / cold milk / ice cream / orange juice / sarad / french fries	お店屋さんごっこしよう	○聞き手が理解しやすいように声の大きさや明確さに気を付けながら話している。	○適切な声量や明確さで注文を聞いたり注文したりすることができる。	○注文の言い方を通して英語と日本語のやり取りの違いに気づく。	行動観察 振り返りカード ワークシート 1対1対話 聞き取りテスト	
	3	交流活動	これまで学習した表現を使っていろいろな場面での会話をし、仲間と一緒にコミュニケーションを図る。	既習の表現	既習の語彙	お店を開こう	○身振り手振り、知っている単語や表現を使って自分のことを伝えている。			○自国と他国の文化の違いに気づく。	行動観察 振り返りカード

3.3 5年生観点別指導計画

		目標		観点別評価規準							
				コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解				
		<p>自国と他国の文化に対する理解を深めるとともに、身近な英語を使って互いに自分のことや自分の身の回りのことについて伝え合うなど積極的にコミュニケーションを図る。</p>		<p>◎相手のことを尋ねたり答えたりして、コミュニケーションを図っている。</p>	<p>◎自分の身の回りや学校のことについて紹介することができる。 ◎身近で簡単な単語や文を複写することができる。</p>	<p>◎相手の言おうとしていることを考えながら聞き取ることができる。 ◎アルファベットや絵が手がかかりしてやさしい英語を読むことができる。</p>	<p>◎自国と他国の文化に対する理解を深める。 ◎自分の身の回りの簡単な英語の表現や発音を知っている。</p>				
学期	時数	単元名 Hi, friends! = HF New Horizon = NH	目標	表現	語彙	主な活動	評価の観点・評価規準		評価方法		
1	4	数② 時刻① HF2 L1 HF2 L6 NH1 U7 NH1 U5	時刻を表す英語に慣れ、時刻を尋ねたり答えたりする。	What time is it? It's seven thirty. I ~ 60	数・時刻 numbers(1~60). ~ o'clock.	何時クイズしよう	◎相手のことを尋ねたり答えたりしている。	◎友だちや先生に時刻を尋ねたり答えたりすることができる。	◎時刻を尋ねたり答えたりする表現を知っている。	行動観察 振り返りカード ワークシート 1対1対話 聞き取りテスト	
	4	時刻② HF2 L6 NH1 Multi Plus2	日常生活に関する表現に慣れ、自分や友だちの生活の様子を伝えたり尋ねたりする。	What time do you get up? I get up at ~.	動詞 get up, eat breakfast. Watch TV, take a bath, go to bed, go home, go to school...	自分の一日を紹介しよう	◎相手の様子を見ながら、話に反応しながら聞いている。	◎何時に何をすることを聞き取ることができる。	◎日常生活に関する表現を聞いて、生活カードをとることができる。	行動観察 振り返りカード ワークシート 1対1対話 聞き取りテスト	
	4	時間割 HF1 L8 NH1 U4	教科名の表現に慣れ、お互いに時間割を尋ねたり答えたりする。	What subject do you study? I study Math on Monday. I like ~.	教科・曜日など Japanese, English, Math, science, social studies, Moral, music, P.E, arts and crafts, home economics.	時間割を作ろう	◎自分で作った時間割表について進んで尋ねたり答えたりしている。	◎友だちや先生に時間割を尋ねたり答えたりすることができる。	◎教科名、曜日の表現を使って時間割について尋ねたり答えたりする表現を知っている。	行動観察 振り返りカード ワークシート 1対1対話 聞き取りテスト	
	2	交流活動	これまで学習した表現を使っていろいろな場面での会話をし、仲間と一緒にコミュニケーションを図る。	既習の表現	既習の語彙	自己紹介しよう(目標表・時間割)	◎身振り手振り、知っている単語や表現を使って自分のことを伝えている。		◎自国と他国の文化に対する理解を深める。	行動観察 振り返りカード	
2	4	できる・できない HF2 L3 NH1 U10	可能な表現に慣れ、お互いに行えることやできないことを伝え合う。	I can play baseball. I can't play the piano. Can you swim? Yes, I can. No, I can't.	スポーツ・楽器 play soccer, play tennis, play the recorder, play the piano, play the violin, play the drums, ski, skate, swim, dance.	スピーチ /質問と応答 インタビュ をしよう	◎自分が得意なことを相手に話したり進んで相手にできるかどうか尋ねたりしている。	◎スポーツや楽器ができるかどうか尋ねる表現を使って、相手に尋ねたり質問に答えたりすることができる。	◎スポーツや楽器の言い方を通して英語と日本語の音のちがいに気づく。	行動観察 振り返りカード スピーチ発表 ワークシート 1対1対話 聞き取りテスト	
	4	趣味/特技 NH2 U6	友だちや先生の得意なことを聞き取る。	My hobby is playing soccer. I'm good at singing.	スポーツ・楽器 playing soccer, playing tennis, playing the recorder, playing the piano, playing the violin, skating, singing, swimming, Dancing	スピーチをしよう	◎友だちの趣味や得意なことについてうなづいたり聞きなおしたりして興味を持って聞いている。	◎紹介を聞いて、趣味や得意なことを聞き取ることができる。	◎趣味や得意なことを言うときの表現を知っている。	行動観察 振り返りカード ワークシート スピーチ 聞き取りテスト	
	4	誰ですか NH1 U7 NH1 U2	紹介の表現に慣れ、自分の紹介したい人を紹介する。	Who is he(he)? He(He) is ~. He(He) can ~. He(He) likes ~.	友だち・家族など 代名詞 he / she 三単現 ~s	紹介しよう (友だち・家 族)	◎人の紹介の仕方を知り、進んで紹介している。	◎だれかを尋ねたり、紹介したい人を紹介することができる。	◎だれかを尋ねる表現や人の紹介の仕方を知っている。	行動観察 振り返りカード ワークシート 1対1対話 聞き取りテスト	
	2	交流活動	これまで学習した表現を使っていろいろな場面での会話をし、仲間と一緒にコミュニケーションを図る。	既習の表現	既習の語彙	紹介しよう (友だち・家 族・先生)	◎身振り手振り、知っている単語や表現を使って自分のことを伝えている。		◎自国と他国の文化に対する理解を深める。	行動観察 振り返りカード	
3	4	案内(校内) HF2 L4 NH1 Speaking Plus2 NH2 Speaking Plus3	教室や特別教室の言い方を知り、場所をたずねたり、お客様を案内したりする。	Where is ~? This way, please. Turn left. Turn right. Go straight. Go upstairs. Go downstairs. Stop / Excuse me. / Sorry.	教室名 class room, teacher's room, science room, library, music room, gym, nurse's room, cooking room, first, second, third floor.	校内案内 ゲーム	◎進んで教室へ案内したり、場所を尋ねたりしている。	◎案内の表現を使って、教室を案内することができる。	◎案内の指示を聞き取ることができる。	◎学校の施設名の表現を使って、案内の仕方を知っている。	行動観察 振り返りカード ワークシート 1対1対話 聞き取りテスト
	3	交流活動	これまで学習した表現を使っていろいろな場面での会話をし、仲間と一緒にコミュニケーションを図る。	既習の表現	既習の語彙	紹介しよう (友だち・家 族・先生)	◎身振り手振り、知っている単語や表現を使って自分のことを伝えている。		◎自国と他国の文化に対する理解を深める。	行動観察 振り返りカード	

3.4 6年生観点別指導計画

		目標		観点別評価規準							
				コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解				
		<p>自国と他国の文化に対する理解を深めるとともに、身近な英語を使って互いに自分の生活や将来のこと、自分の身の回りのことについて伝え合うなど積極的にコミュニケーションを図る。</p>		<p>○自分の考えや気持ちを伝え合い、相手のことを理解しようとする。</p>	<p>○自分の夢・なりたい職業などが言える。 ○身近で簡単な表現を使って気持ちを表わすことができる。</p>	<p>○相手の言おうとしていることや話の展開を整理して理解することができる。 ○アルファベットや絵を手がかりにしてやさしい英語を読むことができる。</p>	<p>○自国と他国の文化に対する理解を深める。 ○英語と日本語の表現や発音の違いを理解する。</p>				
学期	時数	単元名 Hi Friends! = HF New Horizon = NH	目標	表現	語彙	主な活動	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解	評価方法
1	3	持ち物 HF2 L1 NH1 Warm-up NH1 U3	ある物を持っているかどうかを尋ねる表現を知り、それを尋ねたり答えたりする。	Do you have a ~? Do you have "100" card? Yes! do. No! I don't I have a ~.	100までの数 文具・持ち物など pencil, pen, eraser, notebook, ruler, pencil case, pencil sharpener...	持ち物さがし ゲームをしよう	○積極的に、ある物を持っているかどうかを尋ねたり答えたりしようとしている。	◎100までの数を言うことができる。		◎ある物を持っているかどうかを尋ねる表現の仕方を知る。	行動観察 振り返りカード ワークシート 1対1対話 聞き取りテスト
	3	借りる NH2 Speaking Plus1 NH2 Speaking Plus2	お借りする時の表現に慣れ、許可を求めたり答えたりする。	May I borrow ~? Sure. Here you are. I'm sorry. I don't have one.	文具・持ち物など pencil, pen, eraser, notebook, ruler, pencil case, pencil sharpener...	貸し借りごっこ	◎友だちから必要なものを進んで借りようとしている。	◎許可を求めたり答えたりすることができる。		◎お借りするときの表現やその答え方を知る。	行動観察 振り返りカード ワークシート 1対1対話 聞き取りテスト
	6	物語 HF2 L7 NH1 U5	場面に合ったセリフを考えながら、オリジナル英語物語劇をつくることできる。	We are strong and brave. We are good friends.	物語の登場人物 dog, monkey, bird, peach, boy, Grandpa, Grandma	オリジナル 英語物語劇	◎世界の物語に興味をもつ。積極的に英語で物語の内容を伝えようとする。		◎まとまった英語の物語を読んで、おおまかな内容がわかる。	◎既習の表現の組み合わせで物語になっていることを知る。	行動観察 振り返りカード ワークシート 物語劇 聞き取りテスト
	2	交流活動	これまで学習した表現を使っていろいろな場面での会話をし、仲間と一緒にコミュニケーションを図る。	既習の表現	既習の語彙	オリジナル 物語を見て もらおう	◎身振り手振り、知っている語句や表現を使って自分のことを伝えている。			◎自国と他国の文化に対する理解を深める。	行動観察 振り返りカード
	4	誕生日 HF2 L2 NH1 Warm-up	月や誕生日の英語表現の言い方に慣れ親しみ、誕生日を伝え合う。	When is your birthday? My birthday is March 3rd. What do you want? I want a ~.	January, February, March, April, May, June, July, August, September, October, November, December, 1~31の序数。	誕生日を問 こう ステレオ ゲーム	◎友だちの誕生日を興味を持って聞く。		◎12か月の言い方や誕生日を聞き取ることができる。	◎行事について、世界と日本を比べて、季節と関連付けて考えている。	行動観察 振り返りカード ワークシート 聞き取りテスト
	4	日本を紹介しよう NH2 Multi Plus2	Show & Tellの用法を身につけて、日本の魅力を聞き手にわかりやすく伝える。	Hello, What's Japan famous for? Look! (写真を 見せて). This is (地域 名). It's (様子を表す言葉). You can see (have) ~ in (地域名). I like it.	都道府県 観光地 beautifulなどの様子を表す 言葉 hot, coldなどの気候を表す 言葉	Show & Tell クイズになっ て紹介	◎Show & Tellの活動に積極的に使い、自分が集めた日本の魅力を聞き手を意識しながら伝えようとしている。	◎Show & Tellの用法を効率的に使い、自分が紹介したいことを聞き手を意識しながら表現することができる。		◎様子や理由を表す表現を用いながら、聞き手にわかりやすい効果的な英文の構成を考えている。	行動観察 振り返りカード ワークシート Show & Tell 聞き取りテスト
2	4	ツアーコンダクターになろう HF2 L5 NH2 U3	国を紹介する活動を通して自分の行きたい国や場所を伝える。	Where do you want to go? I want to go to Italy. Italy is famous for pizza. I want to have a pizza. Let's go.	国名 Italy, Japan, China, Korea... pyramids, sphinx, Niagara Falls...	ツアーコン ダクターにな ろう 旅行プラン を作ろう	◎進んで相手の行きたい場所を聞くことができる。	◎行きたい国を尋ねたり伝えたりすることができる。		◎行きたい国の世界遺産や観光名所、特色ある食べ物について知る。	行動観察 振り返りカード ワークシート 1対1対話 聞き取りテスト
	2	交流活動	これまで学習した表現を使っていろいろな場面での会話をし、仲間と一緒にコミュニケーションを図る。	既習の表現	既習の語彙	紹介しよう (各県、各国 の観光地 等)	◎身振り手振り、知っている語句や表現を使って自分のことを伝えている。			◎自国と他国の文化に対する理解を深める。	行動観察 振り返りカード
3	4	将来の夢 HF2 L8 NH2 U3 NH3 Multi Plus3	さまざまな職業についての表現に慣れ親しみ、将来の夢について尋ねたり伝えたりする。	What do you want to be? I want to be a ~.	teacher, doctor, driver, nurse, singer, scientist, officer, athlete, baseball player...	スピーチをし よう(将来の 夢)	◎友だちのスピーチに興味を持って聞くことができる。	◎なりたい職業とその理由を聞き合う活動を通して自分が職業につきたい理由を話すことができる。	◎友だちのなりたい職業を聞き、理解することができる。	◎さまざまな職業の表現を使って、将来の夢について尋ねたり伝えたりする仕方を知っている。	行動観察 振り返りカード ワークシート スピーチ 聞き取りテスト
	3	交流活動	これまで学習した表現を使っていろいろな場面での会話をし、仲間と一緒にコミュニケーションを図る。	既習の表現	既習の語彙	自己紹介を しよう(好き なもの、嫌 いなもの、習 技、家族、 夢...)	◎身振り手振り、知っている語句や表現を使って自分のことを伝えている。			◎自国と他国の文化に対する理解を深める。	行動観察 振り返りカード

4. 観点と評価

各観点と評価方法

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
行動観察	行動観察	行動観察	行動観察
振り返りシート	スピーキングテスト	リスニングテスト	振り返りシート

「話す・聞く」についての評価は、単元ごとにその力がどの程度定着しているか、児童自身が会話力の定着を自覚し、会話に対する自信を持つことができるようになったかを上記の評価方法で確かめている。リスニングテストは、①単語を聞いて理解②文を聞いて理解③会話文を聞いて理解等を内容としている。スピーキングテストは、①絵や言葉を見て発音②尋ねられたことに答える③あいさつをする④事実や好き嫌いを答える⑤要求・感謝を示す等を内容としている。「読む・書く」についての評価は、定期的にアルファベットを見て読める、見て書ける、大文字と小文字の関係が分かるの3項目を評価している。「振り返りシート」は、毎時間実施し、児童の思いをしっかりと捉え、授業改善やカリキュラム改善に積極的に役立てるようにしている。

Speaking Quiz! "I can play baseball" Stratember

自分の名前を書き、お友だちの名字を記入してください。

名前

自分の名前が書けるかどうかを確認するために、授業に準じて名前を書き直してください。

名前	評価	コメント	点数
1			
2		I can play baseball.	
3		I can't play tennis.	
4		I can't play tennis.	
5		I can't play tennis.	
6		I can't play tennis.	
7		I can't play tennis.	
8		I can't play tennis.	
9		I can't play tennis.	
10		I can't play tennis.	
11		I can't play tennis.	
12		I can't play tennis.	
13		I can't play tennis.	
14		I can't play tennis.	
15		I can't play tennis.	
16		I can't play tennis.	
17		I can't play tennis.	
18		I can't play tennis.	
19		I can't play tennis.	
20		I can't play tennis.	

リスニングテスト

好きな曜日を選んでください (month, day, year)

th grade name ()

●グループ先生が選んでいることを聞きとって書くので大丈夫です。

①・

②・

③・

④・

⑤・

⑥・

⑦・

⑧・

⑨・

⑩・

⑪・

⑫・

⑬・

⑭・

⑮・

⑯・

⑰・

⑱・

⑲・

⑳・

スピーキングテスト

授業を振り返ろう

"何を学んだか" (day / month / year)

th grade name ()

●数字に口をつけてみよう。

①誰かで授業に参加しましたか。

T 2 5

②授業の授業は好きでしたか。

T 2 5

③誰かの話を聞いて、あいつを打つたりして楽しかったですか。

T 2 5

④誰かの手を握りましたか、ジェスチャーを取り合ったりして楽しかったですか。

T 2 5

⑤誰かの名前を書きましたか、授業で「書く」ことを楽しめましたか。

T 2 5

●感想を書きましょう。(自分ができたこと、気づきがあったことなど)

振り返りシート

5. 具体的な実践

5.1 5年生の実践 単元名：What time is it?

単元の目標

- ・時刻を尋ねたり数を表す英語に慣れ親しみ、1～60までの数を数えたり答えたりすることができる。

言語材料

- ・1～60までの数 / What time is it? / It's 時刻。 / I'm in 国名。

5年生の児童は、1年生のときから年間10回程度ALTによる外国語活動に親しんできた。4年生からは週1回ALTによる外国語科の学習をしてきた。4年生では、あいさつ、天気、好き嫌い、1～20の数等、身近で易しい表現を学習してきた



が、週1回であるため、これまで学習した内容が定着することが難しく、朝の会や帰りの会等に学習した表現をリピートさせたり、ゲームをしたりして定着を目指してきた。



本単元で扱う1～60までの数のうち、20までは4年生で学習してきているが、本単元の学習に入る前に20までの数の定着状況を調べてみると、きちんと答えられる児童がわずか2名であった。14までは、8割近くの児童が詰まりながらも答えられたが、15～20は発音がわからなかったり、発音は分かっている数字と一致しなかったりする児童がほとんどであった。特に15はfifの発音や-tyなのか-teenなのかが分からず戸惑っていた。そこで本単元に入る一週間ほど前から、朝の会や帰りの会で数字の復習をするようにした。また、単元に入ってから60までの数のリピート練習や時計を見て時刻を発音する練習を行った。

第1次では、What time is it? / It's ～. の表現を覚えたあと、絵カードや教授用ミニ時計を用いて時刻を尋ねたり、答えたりする表現を身に付けるようにした。その際、正時や既習の1～20までの数で表すことができる時刻に触れるようにした。第2次と第3次では、1～60までの数を使って時刻を表現したり、in ～ を使って世界の国々の時刻をお互いに尋ねたり答えたりできるように練習をした。本単元の出口である第4次では、社会科の「日本は世界のどこにあるの～世界を一周してみよう～」の単元とも関連づけ、世界の国々のことや場所によって時刻が違う等の学習も取り入れた。各教室を様々な国に見立て、グループに分かれてインターホン越しに相手の国の時刻を聞き合うようにした。学習中は一斉に発音させるだけでなく、個々に指導者が回り発音させたり、3グループに分かれ、それぞれに指導者が付いてカードゲーム等をしながら個々の表現の訂正や定着を図るようにした。



単元の反省と課題

What time is it? や It's ～. という表現は、比較的短時間で慣れることができたが、60までの数は、定着に時間がかかった。特に、アナログの時計を見て時刻を見て発音することが難しかったため、本単元を学習した約1ヶ月間は、時計を指して、“What time is it?”という問いかけを常にし、“It's 時刻.”と答えさせるようにした。時刻の表現の定着には時間がかかったが、学習したあとは、ほとんどの児童がアナログの時計を見て、すぐに時刻を言うことができるようになっていた。

また、インターホンを使った最後の活動は、児童が大変興味を持って学習することができていた。しかし、相手が見えないため、絵カード等の実物を見せることができないことに加え、ジェスチャーが使えない等、児童にとってはハードルの高い活動になってしまった。

5.2 ネイティブゲストとの交流学習

本校では、毎学期末にネイティブのゲストに来ていただき、交流学習をしている。この交流学習では、学期内に学習した表現を使ってネイティブのゲストと交流している。

交流学習の授業の流れは以下の通りである。

- ①ネイティブゲストの自己紹介（英語だけでなく、母国語であいさつ等も紹介して頂く。）
- ②それぞれの学期に学習してきた表現を使って交流する。当日は、ALT も含めて5人のネイティブゲストと学習する。



各学期末に行われる本単元は、単にそれぞれの学期の復習というだけでなく、いろいろな国の人々に対して自分の英語を使ってコミュニケーションをとることができるという体験をさせたいと考えている。また、毎回できるだけ違う国のゲストに来ていただくことにより、様々な国の人が英語を使っていることや英語はコミュニケーションツールであることを意識させたいと考えている。

6. 成果と課題

資料1は、平成23年度～25年度の学習に関する状況調査の中から英語の学習を取り出したものである。数値は、英語の学習が、「よくわかる」、「だいたいわかる」の肯定的な回答の割合を表している。本校の児童は、どの年度も英語の学習が概ねわかると回答している。特に本年度は、肯定的な回答の割合が97.6%となっており、英語の学習が深まってきている。一方、平成24年度6年生の否定的回答（「わからないことが多い」、「ほとんどわからない」）の割合は、20%と高い数値になっている。実践を振り返る中で、指導者から出てきたのは、定着を意識するあまり、学習のゴールが、「指導者側から提示した表現が言えること。」になっているからではないかという意見だった。実際、最後の時間に設定しているタスクよりもスピーキングテストやリスニングテストのために表現をリピートさせることに重きを置く傾向にあり、児童が興味を失っていったことは否めない。

資料2は、現在中学校2年生が1年次の2学期に回答したアンケートの結果である。この学年は、小学校4年生、5年生と外国語活動して、6年生のとき教科としての英語を学習した生徒である。質問2の回答を見ると、「英語を聞く」、「英語を話す」の数値が高く、本校区で重視してきた「聞く・話す」の学習の営みが、生徒の学習スキルや自信につながったのではないかと推測される。実際、進学先の英語担当教員からも、リスニングやスピーキングは非常にスムーズに学習ができているという声が聞かれた。一方、資料2の質問3の回答を見ると「話す・書く」に関することが多数挙げられている。ただ、この件に関しては、学習が週に1時間という時間的な制約があることに加え、「読



む・書く」を取り入れることによって学習の習熟度に関きが出てくるのではないかという不安があり踏み込むことができていない。

資料1 「学校の授業で次の教科や活動の内容がどれくらいわかりますか。（英語）

学年	H23 年度	H24 年度	H25 年度
4 年生	100.0% (0.0%)	95.0% (5.0%)	100.0% (0.0%)
5 年生	75.0% (5.0%)	71.4% (0.0%)	100.0% (0.0%)
6 年生	93.8% (0.0%)	80.0% (20.0%)	92.9% (7.1%)
平均	89.6% (1.7%)	82.1% (8.3%)	97.6% (2.4%)

※1 数値は肯定的評価の割合。（ ）内の数値は否定的評価。

※2 回答の選択肢は、「よくわかる」「だいたいわかる」「どちらともいえない」「わからないことがおおい」「ほとんどわからない」

資料2 「中学生にアンケート～小4、小5 外国語活動小6 外国語科を学習した学年～」

1. 小学校で英語を学習してよかったと思いますか？	
・はい	64.0%
・ふつう	30.5%
・いいえ	5.5%
2. 小学校の小学校で学習した、どのようなことが今役立っていますか？役立っていると思うことに○をつけてください。	
・英語を聞く。	88.8%
・英語を話す。	91.6%
・英語を書く	50.0%
・英単語を知っている。	69.4%
・友だちや先生と英語でコミュニケーションを取ることに抵抗が少ない。	47.2%
・英語学習が初めてではないので、中学校の英語学習にスムーズに入ることができる。	63.8%

3. これから小学校の英語学習では、どのような内容を学習するべきだと思いますか？

- ・英単語など、書くこと、読むこと。
- ・もう少し英語を書くことをやったらいいと思う。(6名)
- ・ゲームをするより、英語を書いたりする方がよいと思います。
- ・単語を書くことが少なかった気がするので、聞く、読むも大事だが、もう少し単語を書く時間を増やせばよいと思う。
- ・単語を覚える。(6名)
- ・単語をもう少し増やした方がよい。
- ・コミュニケーションや読み・書きなどを学習したらよいと思います。ゲームなども取り入れたらいいと思います。
- ・外国の文化。
- ・なるべく外国の人(ローラ先生)と話すことを増やす。
- ・外国の人とのふれあいの場を増やしたらいいと思う。
- ・外国の人と一緒に学習をしたり、英語の授業の時は、すべてのことを英語でしたり、スピーチをしたり、書いたりすること。
- ・中学校の予習的なものを・・・。

7. 終わりに

外国語活動から外国語科に移行したことに伴い、我々が真っ先に考えたことは「定着」という言葉であった。指導要録や通知簿に評価をつけるのであれば、できるだけC評定は付けないようにしてやらなければならない、なんとか表現を覚えさせなければならないという危機感であった。しかし、成果と課題でも述べたように、タスク活動よりも提示した表現の定着を重視してしまうと、意欲の低下を起こしかねないし、積極的なコミュニケーションを図るといった大きな目標から外れてしまう。一方、授業をされていてよく聞かれるのが、「きちんと言えないとおもしろくない。」という児童の声である。何となく“Good!”と言われるよりも、きちんと間違いを指摘してもらいたい児童は少なくない。

我々は、表現や語彙の定着をしっかりとしながらも、児童が夢中になって英語でコミュニケーションをとる授業を創っていかなければならないと考える。そのためにも、言えた、伝わったという体感がしっかりとできるタスクを設定していかなければならないと考える。

